

1801: ピョトロヴィツェで、プロポリスを紛失したはずだが、違うようだ。

1802: 猫の鳴き声は、平均的にはニャーニャーですね？

1803: ヴォロナ君、熟睡したけりゃ、別室にソファがありますよ。

1804: フェデラーは、極度の怖がりである自分を省みました。

1805: 授業でも役立つウィジェットは、軒並み覚えています。

1806: 錦衣玉食の暮らしは、様々な病気の引き金になりますよ。

1807: ウィッグをつけた女神に会えるなら、毎日仮病を使います。

1808: あのと時墨汁を使ったと、虚偽を述べましたね。

1809: あれ、しゃぶしゃぶの食材は、テーブルに置いたと記憶してたのですが。

1810: ティーヴォリがアリューションへ行き、マルティヌーも付き添います。

1811: グォさんは、里では知られた顔で、皆から挨拶されます。

1812: ヴィヴァルディの四季を、袖が長い黒シャツを着て弾きます。

1813: そのデマの拡散元は、ビューヒェルベルクのネカフェみたいです。

1814: 中国の、ディディクゥアイダって会社の規模は、圧巻です。

1815: デャデュンは、ビューマーから立派な蔵を譲り受けました。

1816: ここから東に真っ直ぐ進むと、プロスキリーリウって町があります。

1817: 無敵に見えるウォジミエシュですが、デバフが効くんですよ。

1818: 一目悪手に見えましたが、窮地をひっくり返す好手です。

1819: キェルツェに住むリヤードフは、狭量ではなく視野が広いです。

1820: ヴェルナーとクェスは気が緩み、スィノプで拉致されました。

- 1821: セミョノヴィチ・ヴィゴツキーは、ピアディーナを^{きら}嫌っています。
- 1822: サンスクリット語^{ごけん}圏で^{はたら}働^きき、テョやテャ、デャやデョの^{はつおん}発^し音を^し知りました。
- 1823: ガーズィーブルでの^{けっこん}結^{なこうど}婚、仲^{なこうど}人はビュイヤールさんだったんです。
- 1824: ^{かほ}夏帆はギリギリになって、パパへの^{せびろ}プレ^きゼントを^{せびろ}背^き広に決めました。
- 1825: ^{わた}渡^{かんばん}るべからずとの^{かんばん}看^で板があるのは、ぬりかべが^で出^でるからのようです。
- 1826: グィディッチオーニは、^{きよぜつ}拒^{くぎょう}絶^{きょうふ}できない^{からだ}苦^{ふる}行への^{からだ}恐^{ふる}怖で、^{ふる}体^{ふる}が震えます。
- 1827: ビュービュービュービュー^な鳴^{かぜ}る^{ろくが}風^{むずか}の^{むずか}録^{むずか}画^{むずか}って、やっぱ^{むずか}難^{むずか}しいですかね？
- 1828: あの、このスーツはウォッシュャブルだと^{うかが}伺^{うかが}ってたのですが。
- 1829: ^{さきほど}先^{さきほど}程^{さきほど}ニュングェですれ^{ちが}違^{えんび}った、^{かた}艶^み美な^み方^みがお^み見^みえになっ^みてます。
- 1830: ^{ぼく}僕^{きよじゅう}は、^{きよじゅう}ビュ^{きよじゅう}ラ^{きよじゅう}シュ^{きよじゅう}ニツ^{きよじゅう}アに^{きよじゅう}居^{きよじゅう}住^{きよじゅう}する、^{きよじゅう}ジャ^{きよじゅう}ハン^{きよじゅう}ギルと^{きよじゅう}申^{きよじゅう}す^{きよじゅう}者^{きよじゅう}です。
- 1831: ^{かいぎ}会^{おも}議^{ほかなが}が^{ほかなが}思^{ほかなが}いの^{ほかなが}外^{ほかなが}長^{ほかなが}い^{ほかなが}のは、^{ほかなが}き^{ほかなが}っと^{ほかなが}フ^{ほかなが}ォ^{ほかなが}レス^{ほかなが}ティ^{ほかなが}エ^{ほかなが}が^{ほかなが}ご^{ほかなが}ね^{ほかなが}て^{ほかなが}る^{ほかなが}ん^{ほかなが}で^{ほかなが}し^{ほかなが}ょう^{ほかなが}ね^{ほかなが}。
- 1832: ^{ぶつそう}物^よ騒^よな^よ酔^よっ^よ払^よいが^よ闊^よ歩^よする^よゾ^よーン^よだ^よか^よら、^よド^よパ^よル^よデ^よュー^よも^よ気^よを^よ付^よけて。
- 1833: ^{あず}ステ^{あず}ル^{あず}ヴィ^{あず}オ^{あず}・^{あず}ヴェ^{あず}ロー^{あず}チェ^{あず}を^{あず}預^{あず}か^{あず}った^{あず}が、^{あず}ヴィ^{あず}オと^{あず}略^{あず}して^{あず}呼^{あず}んで^{あず}い^{あず}ま^{あず}す。
- 1834: ^かフォ^かスター^かは、^かチ^かョ^かベ^かリ^かグと^か書^かか^かれた^か凡^か例^かを、^かグラ^かフに^か追^か加^かしま^かした。
- 1835: ^うグ^うウ^うエ^うイン^うから^う受^うけた^う細^うかい^う傷^うを^う癒^うす^うた^うめ、^う病^う院^うへ^う行^うき^うま^うす。
- 1836: ^{けん}ニ^{けん}ュー^{けん}デ^{けん}ィ^{けん}ゲ^{けん}イト^{けん}さん^{けん}の^{けん}件^{けん}、^{けん}そ^{けん}ろ^{けん}そ^{けん}ろ^{けん}話^{けん}を^{けん}進^{けん}め^{けん}ま^{けん}し^{けん}ょ。
- 1837: ^{きんしゅ}ペ^きト^きウ^きラ^きが^き禁^き酒^きす^きると^き聞^きき、^き即^き座^きに^き無^き理^きっ^きし^きょ^きっ^きて^き言^きっ^きち^きゃ^きっ^きた^きよ。
- 1838: ^のミ^のュ^のン^のヒ^のェ^のンで^の飲^のんだ^の紹^の興^の酒^のの^の味^のが、^の忘^のれ^のら^のれ^のま^のせ^のん。
- 1839: ^{さま}ブ^{さま}ロ^{さま}ニ^{さま}ェ^{さま}フ^{さま}ス^{さま}キ^{さま}様^{さま}は、^{さま}別^{さま}館^{さま}に^{さま}案^{さま}内^{さま}さ^{さま}せて^{さま}頂^{さま}き^{さま}ま^{さま}す。
- 1840: ^{あなた}貴^{しゅぎ}方^わの^わ主^わ義^わは^わ分^わか^わった^わので、^わま^わず^わナ^わン^わデ^わィ^わウ^わォ^わー^わ山^わ脈^わを^わ登^わる^わか^わ決^わめ^わま^わし^わょ。
- 1841: ^{きよく}そ^くの^く巨^く軀^くが^く繰^くり^く出^くす^く一^く撃^くに、^くポ^くパ^くィ^くの^く視^く野^くが^く狭^く窄^くして^くい^くき^くま^くした。

- 1842: ペトリューラは^{けはい さと}気配を^に悟られず、^{せいこう}逃げることに成功しました。
- 1843: ウィミョンは^{がくしゃはだ}学者肌だが、^{はくしごう と}博士号を取るつもりは^な無いようです。
- 1844: ギョルギでしたら、^{あね}ピャニーガの姉の^{ところ ひ こ}所へ引っ越しました。
- 1845: ^{おのれ こぶ}己を鼓舞し、^{しょうぶ か}チャヴァリアとの勝負に勝ってくださいませ。
- 1846: ^{ゆび}パジャリは^{なが きよう}指が長く器用なので、^{てきせい}ピアノの適性があるでしょう。
- 1847: ^{がれき てつきよ きよ}瓦礫の撤去に寄与したのは、^{ウェスパシアーヌス}ウェスパシアーヌスさんです。
- 1848: ^{さま}ヴァシーリエヴィチ様の、^{じんそく しより}迅速な処理には、^{あたま あ}頭が上がりませぬ。
- 1849: ^よテヨと呼ばれるある^{せんしゅ}選手は、^{かげき れんしゅう た}過激な練習に耐えています。
- 1850: ^{つく}ビュザンティオンで、^{けいい しめ}ブブゼラを作るシェリーに、敬意を示します。
- 1851: ^{くり}クェスブでしたら、^{じゅんび}庫裏でビールの準備をしてるはずです。
- 1852: あー、^{ことば ずいしょ}ファブリツィオの言葉の^{ひん よ}随所に、品の良さが^で出てますね。
- 1853: ^{ひゅううつ うつく か}彪蔚の美しさを^{おも}描くことにしたが、思ったようになりませぬ。
- 1854: ^{てんません ゆらい}ぬー、伝馬船の由来を、^{せつめい}ヴェチェッリオにどう説明しようかしら。
- 1855: ^{つく}レゾビエが作る^{ここんどつぽ}ギュベチは、古今独歩のクオリティですぜ。
- 1856: ^{ひょうひょう}ジェディディアは飄々としてますが、^{ふじゅ かげぐち たた}腐儒と陰口を叩かれています。
- 1857: ^{ち ずぬ}トゥーパリエフの知は^{ぶか あい}頭抜けており、部下に愛されながらも^{いや}卑しまれました。
- 1858: ^{せつな かいらく おぼ だらく}刹那の快樂に溺れて墮落とは、^{はいぼく}カスティーリョも敗北ですな。
- 1859: ^{たびかさ}デュピュイは、^{ばか しう}度重なる馬鹿げた仕打ちに、^{むほん かくご き}謀反の覚悟を決めます。
- 1860: ^{ともだち}ギョルギョンは、^{よろこ}ボランティアで友達ができ喜びました。
- 1861: ^{かぐら ま}神楽を舞う^{はな}ドウウォーキンの華やかさは、^{もはや きゅう}最早レジェンド級です。
- 1862: ^{かい て はい}ジャングルでは貝が手に入りにくく、^{かかく たか}価格が高くなりがちです。

- 1863: ああ、ヤギェウォ^{だいがく}大学^{しゅうへん}の周^{のざら}辺^{じてんしゃ}で、野晒しにされた自転車ね。
- 1864: あのペンションでは刺殺事件があり、まだ客^{きやく}足^{あし}は戻^{もど}っていません。
- 1865: えー、モーペルテュイって、アーチェリーが死ぬほど下手^しなんですよ？
- 1866: ビヤチェフラフだって馬鹿^{ばか}じゃないし、調^{しら}べても無駄^{むだ}ですよ。
- 1867: グァンスは己^{おのれ}を統御^{とうぎよ}し、大いなる野望^{おお}を成^{やぼう}し遂^なげました。
- 1868: シャルパンチェって哺乳瓶^{ほにゅうびん}で、授乳^{じゅにゅう}した実績^{じっせき}ありましたっけ？
- 1869: エツェルの兵^{へい}は、病人^{びょうにん}からも容赦^{ようしゃ}なく略奪^{りやくだつ}しています。
- 1870: ツァヒャーギーンは、子供^{こども}が産まれそうだからと、チャリで帰宅^{きたく}しました。
- 1871: ミヤスコフスキーの予知^{よち}は、百^{ひゃく}発^{ぱつ}百^{ひゃく}中^{ちゅう}で実に見事^{じつ みごと}です。
- 1872: やっぱり、ピエトラシャクと出会^{であ}えた縁^{えん}には、感謝^{かんしゃ}ですね。
- 1873: 螺子^{ねじ}が固^{かた}く、シェヴロレーが力^{ちから}任^{まか}せに緩^{ゆる}めました。
- 1874: 客^{きやく}に出^だしたジャージャー麺^{めん}に、虫^{むし}が入^{はい}っていたそうです。
- 1875: ゼルヴァツィウスは、キャベツの葉^はより茎^{くき}を好^{この}んで食^たべます。
- 1876: 阿弥陀如来に代わる仏^{あみだによらい か}を、私^{わたし}はまだ存^{ぞん}じませぬ。
- 1877: 五時限目^{ごじげんめ}は座学^{ざがく}なので、宿題^{しゅくだい}のチェックを済^すませましょう。
- 1878: プラザでは、伸びる杖^{の つえ}の手品^{てじな}を披露^{ひろう}してますよ。
- 1879: 水道^{すいどう}が逆^{ぎゃく}流^{りゅう}し、飲料水^{いんりょうすい}の確保^{かくほ}すら厳^{きび}しいです。
- 1880: 夜食^{やしよく}に、カトリューティを^{つく}作^{おも}らせておりますので、母屋^{もや}にどうぞ。
- 1881: ブリュッヒャー様^{さま}は、我が社^わのスポンサー、くれぐれも丁重^{ていちょう}にね。
- 1882: 完璧^{かんぺき}なフュージョンには、ウエンとウォンの存在^{そんざい}が不可欠^{ふかけつ}です。
- 1883: 雑居ビル^{ざっきよ}から、チェジャのヴォーカルが、雑音^{ざつおん}に混^まじって聞^きこえます。

1884: 蒸^むらす料^{りょう}理^りでしたら、中^{ちゅう}華^かの真^{しん}骨^{こつ}頂^{ちよう}ですぞ。

1885: ミクシィで集^{つど}ったミュイと、バグギヤモンでギャンブルし負^まかされました。

1886: 僕^{ぼく}はナイフを研^とぎ、ウェイヴのロゴを入^いれてお渡^{わた}しします。

1887: 根^ねが張^はっている植^{しょく}物^{ぶつ}を、ヘンリーが強^{ごう}引^{いん}に引き抜^ひきました。

1888: ニカラグアに、段^{だん}ボールを十^{じゅう}箱^{ばこ}発^は送^{そう}しておかなきゃ。

1889: 神^{しん}仏^{ぶつ}を貴^{とう}ぶことは、大^{たい}切^{せつ}なのです、ヨゼフィーネ様^{さま}。

1890: その病^{びょう}状^{じょう}でしたら、牡^ぼ丹^{たん}皮^びで改^{かい}善^{ぜん}すると思います。

1891: ファトゥミルは、労^{ろう}働^{どう}協^{きょう}約^{やく}を締^{てい}結^{けつ}し、アルバイトを始^{はじ}めました。

1892: プロデョーヌのメンバーに、紫^し蘇^そを巻^まいた寿^す司^しを贈^{おく}りました。

1893: メドヴェージェフさん、究^{きゅう}極^{きよく}のジェノベーゼができたって？

1894: ディデューは手^て加^か減^{げん}が下^へ手^たですから、児^じ戯^ぎでも大^お人^{とな}げなく潰^{つぶ}しちゃいます。

1895: 札^{ふだ}付^つきの不^ふ良^{りょう}だったウィルチェクが、今^{いま}や部^ぶ活^{かつ}のレギュラーです。

1896: トルクアトゥスの企^{たくら}みを、瞬^{しゅん}時^じに喝^{かつ}破^ぱできるとは、流^{さすが}石^{いし}ですね。

1897: ペツオッタイトを、亡^なき祖^そ母^ぼからの遺^い物^{ぶつ}として拝^{はい}受^{じゅ}しました。

1898: ミャオリージェは掘^く削^{さく}に慣^なれず、三^{みつ}日^{にち}目^めからサボり始^{はじ}めました。

1899: 供^{きょう}述^{じゆつ}によると、ミャスィーシチェヴァは、別^{べっ}室^{しつ}で縛^{しば}られてるとのことです。

1900: リャプノーフは初^{しよ}志^しを貫^{つらぬ}き、ボイスチェンジャーの研^{けん}究^{きゅう}を続^{つづ}けます。

1901: 開^{かい}票^{ひょう}の結果^{けつ}、フューヴルは一^い票^{ひょう}差^さで落^{らく}選^{せん}した。

1902: 薔^ば薇^らのパフュームには、妖^{よう}術^{じゆつ}じみた怪^{あや}しげな魔^{まり}力^{りよく}がある。

1903: ブリュギエールなら質^{しつぎ}疑^ぎはバッチリだから、俺^{おれ}らは遊^{あそ}ぼうぜ。

1904: アークェットのペーパーを、派^は手^でに誤^ご訳^{やく}した間^ま抜^ぬけは誰^{だれ}だ。

- 1905: ウォーデルは、自分の補助が前提のヘーフェルに、辟易してきた。
- 1906: ヘズルティンはシャイで、人前に姿を見せることも稀である。
- 1907: ハイレゾオーディオコンポが壊れたと、ディヴォックは自嘲気味に話した。
- 1908: トゥーシャーの素朴な疑惑が、マニュアルに加筆させる呼び水となった。
- 1909: 親の呪縛にもがき苦しむヴァーホーヴェンを、処罰せんでほしい。
- 1910: ムツツェンバハーが正義を説き、パイパイ喧しい奴らを黙らせた。
- 1911: 急遽舞台がキャンセルとなり、ウィラ様も立腹の御様子だ。
- 1912: キャドヴァラダーは、川の氾濫に巻き込まれずに済んだ。
- 1913: ティージェンが、オモチャのプロペラを回し、ルービックキューブで遊ぶ。
- 1914: 弱点の克服は、ブローディが二流から脱却するのに必須です。
- 1915: ツィットグロッグの主は、飢餓をゼロにする活動を支持する。
- 1916: 水不足の街で、シェミエノヴィチが井戸を掘りあてたとな。
- 1917: 呪術を訝しむのは分かるが、侮辱や冒涇はするなよ。
- 1918: 醜いと蔑まれても、チューリップを踏み潰す癖が直らぬ。
- 1919: うーん、僕らはヴァシェやウィザーらと、グループを組めるかな？
- 1920: イェウパトリーヤのヘウスラーは、謹厳実直な人柄と聞いちよるよ。
- 1921: イェヴティッチが更迭とは、青天の霹靂だったぜ。
- 1922: 兵糧攻めで、我が軍の戦力は削がれ、参謀は蹲る。
- 1923: ジョセッフィの不手際なら、会議で諮ることにしてくれ。
- 1924: セツツァが蚕糸からポロシャツを作ったが、サイズが緩かった。
- 1925: ちょっとジェロメウさん、ニャキュサ語で「バズる」って伝えてよ。

- 1926: シイルの^{ほうぎよく}宝^ゆ玉^ちが、茹^{つた}でたパプリカとプラムで治癒すると伝えた。
- 1927: なあ、「僕は親不孝でえす」なんて、自慢^{じまん}にやらんぜ。
- 1928: くうちゃんは、ミヒヤエルから^{えんえん}延々と^{きゅうあい}求愛され、^{ほほ}頬^{あか}を赤らめた。
- 1929: ヒュームが炊いた米^{こめ}を、平然^{へいぜん}とヘルベルガーが食べる。
- 1930: 凹凸^{おうとつ}の激^{はげ}しいオブジェだけど、微妙^{びみょう}に愛着^{あいちゃく}が沸くね。
- 1931: ブラキプテリギウスの化石^{かせき}のチェックなら、このパス^もを持ちなさい。
- 1932: 芳醇^{ほうじゅん}ペコリーノは、ヘリウオードがヘビロテ^{つか}で使ってる。
- 1933: ピョクケスは結っていた髪^ゆを切り、短髪^{かみ}に^き戻した。^{たんぱつ}短髪^{もど}に戻した。
- 1934: ここから逆転^{ぎゃくてん}するには、チョリソと魚肉^{ぎょにく}を^{なん}何とかしなければ。
- 1935: 二十歳^{はたち}になったゲーゼの夢^{ゆめ}は、死ぬ^しまでにグィネヴィア^いへ行くことである。
- 1936: 鼓^{つづみ}を鳴らし、^な方々^{ほうぼう}に義賊^{ぎぞく}の侵入^{しんにゆう}を知らせた。^し侵入を知らせた。
- 1937: 歯止め^{はど}が利^きかぬ悪鬼羅刹^{あつきらせつ}の処罰^{しょばつ}、是非^{ぜひ}ともお任せ^{まか}あれ。
- 1938: 主役^{しゅやく}の木っ端武者^こが、雪月夜^{ばむしや}に勇気^{ゆきづきよ}を出し、己^{ゆうき}を鼓舞^だする。^{おのれ}己^こを鼓舞する。
- 1939: ベトナムでニョクマム^{ばいばい}が売買^かされており、ペネロペ^きがわざわざ^き買いに来た。
- 1940: ズィーアンへの出張^{しゅつちよう}が^き決まったが、旅費^{りょひ}が捻出^{ねんしゅつ}できず^{じばら}自腹になる。
- 1941: 滅茶苦茶^{めちゃくちや}だが、サラハスィー^{もとで}は元手^{ひやくまん}の百万^つを、ギャンブル^こに突っ込む。
- 1942: デヤンティは、くも膜下出血^{まっかしゅつけつ}を患^{わずら}ったが、手術^{しゅじゅつ}で治癒^{ちゆう}したよ。
- 1943: クィリチは祖母^{そぼ}が危篤^{きとく}となり、急遽^{きゅうきよ}ベリトゥンへ赴^{おもむ}く。
- 1944: ポピーレッドの扇^{おうぎ}が、ザビエルのトレードマーク^{おぼ}だと覚えることだな。
- 1945: ペッパーでピリピリしたパイ^だを出した、柳生^{やぎゅうえき}駅のシェフ^{ゆる}を許さない。
- 1946: 金春流^{こんばるりゅう}の始祖^しが誰^そか、キュベレ^{だれ}は閨雲^{やみくも}に調^{しら}べた。

- 1947: ウィジェラトネは、^{きんぼうげ}金鳳花の^よ呼び名が^な分からず、^わ辞書を引く。
- 1948: ウチの^{みせ}店、^{ながねん}長年エゾタヌキの^{めじるし}マークが^{えいぎょう}目印で、^{えいぎょう}営業してたさ。
- 1949: ベレニエショヴァーの^{たゆ}弛まぬ^{どりよく}努力に、ユギヨムは^{たんぷく}嘆服した。
- 1950: ザハウィの、テヨとデヨの^つ付く^{ことば}言葉を^{さが}探す^{しゅうねん}執念に、^{かんぷく}感服ですよ。
- 1951: ^{ひょうばん}評判の^よ良い^{えんじゃ}演者であったが、ヒョヨンは^{きげん}機嫌を^{そこ}損ねた。
- 1952: ^{どうろ}道路が^{ほそう}舗装され、ザンボーニは^{いわ}ボジョレーヌーヴォーで祝った。
- 1953: ジャンボパフェをペロツと^{たい}平らげた^{いぶくろ}ホッペの^{うちゅう}胃袋は、^{うちゅう}宇宙なのか。
- 1954: ^{ひゃくねんまえ}百年前に^{はす}蓮が^{はんも}繁茂し、^{いま}今も^{みやくみやく}脈々と^{せいちょう}生長を^{つづ}続ける。
- 1955: ^{へいせい}平成^{じゅうきゅうねん}十九年から、フォンツィは^げ外科医も^{かい}兼務^{けんむ}しだした。
- 1956: ペリエシャツで^{かいさい}開催された^{そうごん}荘厳な^{しきてん}式典に、^{しゅっせき}ギュミルが出席した。
- 1957: このゲームは^よ良くて^ひ引き分け^わだけど、まだ^いビェリツアのヘルプは^い要る？
- 1958: ヴォラピュクを^{まな}学び、^{いんゆ}引喩の^{むずか}難しさが^わ分かってきた。
- 1959: ユグオンなら、^{しっぱい}マウピティでの^{はんせい}失敗を^{ふっかつ}反省し、復活したぜ。
- 1960: イヴァシュキエヴィッチは^{しゃくほう}釈放され、^{かんばい}ポトフとパナシェで乾杯した。
- 1961: ミリヴォイェヴィッチよ、明日は^{あす}明朝^{みょうちよう}から、^{しゅっぱつ}トラーヴェミュンデに出発だぜ？
- 1962: ^{おうべい}欧米との^{ひかく}比較で、^{ぼこく}フィッツァーは^{ぼつらく}母国の^{みと}没落を認めた。
- 1963: グァンギュは、^{あまた}メディカル^{かんじゃ}チェックで^{すく}数多の患者を救った。
- 1964: ラサルハグエは^ざへびつかい^{ひと}座の一つで、^みラムザタワーから^み見えますよ。
- 1965: ^{ぎやくさつ}リヴィウポグロムなどの^{にど}虐殺は、^お二度と^お起こしてはならぬものだぞ。
- 1966: ^{ゆざ}湯冷ましで^{ねぼ}グチュグチュとうがいしてたが、^{ねぼ}ひょっとして寝惚けてた？
- 1967: ^{はっぴやくにんし}ギャニャールで^{びょういん}八百人死んだが、^{きせいちゅう}病因は寄生虫らしいぞ。

1968: ああ、プロヴェンザノは、ジェレンツァーノの墓地に 葬 られたよ。

1969: シェーファーは若 者と 交わり、ヴェラッツァーノは拒否した。

1970: 硫黄の 匂 いに、豚はぶーぶー、猫はミャーミャー鳴いてるってば。

1971: スイルギェーイエヴィチュの 探 求 力 は、頭抜けてたからな。

1972: サピエハは寒気でゾクゾクしていたが、律儀に日課をこなす。

1973: デュフレーヌが寝入る時間に、こっそりベランダで煙草を吸う。

1974: ヴィプケは同 姓と遊ぶと、すぐへとへとに草臥れる。

1975: ディンゼオは 頑 丈で、ベッヒャーのチョップ程度なら無傷だよ。

1976: まさか下 町の賭場で、ベルシャツアル殿を目撃するとは。

1977: 二足の靴のパティースを、並 行して進めてもらう。

1978: 得意の模写で、セミョーノフを挫折させるとは、あんた只 者 じゃないな。

1979: 僕は明日、ベランジェとドゥアベレに発つから、留守を頼むよ。

1980: 玄 米から糠を除き忘れ、思わずデヨーと声が出た。

1981: チェルニウツィーで、カンビャーゾに殴られた打撲が痛い。

1982: 拘 束されたユフィは、湯葉を指に巻いていたら、ユーフォーを見た。

1983: 点字のことで略 式 起訴されたが、友のエールで夜は眠れる。

1984: 汚れた気持ちは、貴族とウェカピポを聴いたら忘れたよ。

1985: ソルジェニーツィンとテュローは、中 東 の歴史をレポートにまとめた。

1986: ジョネットは、過去にホビョト語を習ったが、すでに覚えてない。

1987: アニューシャが憎いとしても、ペタバイトのエスエスディーは欲しいだろ。

1988: やっぱりポッシュは、パリとツォディロを 訪 れることにした。

- 1989: チャコールグレーのスーツを着た^き彼女^{かのじょ}は、無事^{ぶじ}に復職^{ふくしょく}した。
- 1990: クォールズは、ペルセフォネの悪巧^{わるだく}みを阻止^{そし}すべく、働^{はたら}きかけた。
- 1991: ちょっとゴタゴタして、ヴォコーダーの音色^{ねいろ}チェックを^{わす}忘れちまった。
- 1992: ファンタジーの世界^{せかい}では、不思議^{ふしぎ}と彫像^{ちやうぞう}が切り札^{きふだ}になる。
- 1993: 酒豪^{しゅごう}で知られるグウイだが、バーボネラだけは^し苦手^{にがて}である。
- 1994: ロボットがピポピポと鳴り、ユーポはヒェッと^な声^{こえ}を上げ慌^あてる。
- 1995: 激怒^{げきど}したペーテヤが振るう拳^{ふこぶし}にあ^あ当たると、死ぬ^しと思^{おも}うぜ。
- 1996: ビュフォードは、溶岩^{ようがん}に飲み込まれる夢^{のこ}を見て、飛び起^{ゆめ}きたって？
- 1997: 微笑^{びしょう}を浮かべるピャトノフだけど、あの戯言^{ざれごと}を聞^きけば無理^{むり}はないな。
- 1998: 君^{きみ}は、キャンクァンジからプライベートジェットで来^きた、ボルジェスだね。
- 1999: ヴェルディエは意志薄弱^{いしはくじゃく}で、風見鶏^{かざみどり}だと陰^{かげ}で揶揄^{やゆ}されるほどだしな。
- 2000: 布^{ぬの}を鮮やか^{あざ}に彩^{いろど}るなら、ヴォジーシェクの教^{おし}えが欲^ほしいな。